

2023年7月5日

対面での自然な多言語コミュニケーションを実現する 翻訳対応透明ディスプレイの実証実験を開始します

✓西武新宿駅にて2023年7月10日（月）より開始

西武鉄道株式会社（所在地：埼玉県所沢市、社長：小川 周一郎）は、訪日外国人観光客受け入れ体制の強化を目的に、翻訳対応透明ディスプレイ「VoiceBiz®UCDisplay」の実証実験を2023年7月10日（月）より西武新宿駅にて開始します。

「VoiceBiz®UCDisplay」は凸版印刷株式会社が開発したシステムで、透明ディスプレイに話した言葉の翻訳結果を表示することにより、対面での円滑な多言語コミュニケーションを実現するものです。

2022年10月の水際対策緩和以降、急速に需要が回復する訪日外国人観光客の対応に備え、アプリ等の操作を必要とせず、相手の表情を見ながらの円滑な多言語コミュニケーションが可能となる本システムの実証実験を、訪日外国人が多く利用する西武新宿駅にて実施します。また、本システムにより、外国語話者のスタッフを配置せずとも、訪日外国人観光客と駅係員の円滑な多言語コミュニケーションが可能となるため、スマートな駅運営が期待できます。

今回の実証実験において本システムの有用性を検証し、2023年秋頃の本格導入を目指します。詳細は別紙のとおりです。



「VoiceBiz®UCDisplay」イメージ © TOPPAN INC.



西武新宿駅での設置イメージ

【別紙】

「VoiceBiz®UCDisplay」実証実験について

1. 実証実験について

【期 間】 2023年7月10日～9月末（予定）

【場 所】 西武新宿駅 特急券売り場横

【稼働時間】 7：00～20：00

【実証内容】・ディスプレイの活用方および有用性
・特有単語の翻訳精度
・対面でのコミュニケーションの有効性 など

2. 凸版印刷が提供する「VoiceBiz®UCDisplay」の特長

①音声翻訳アプリ「VoiceBiz®」の活用で、高い翻訳精度を実現

本システムは、NICT（情報通信研究機構）が開発した翻訳精度の高い国産翻訳エンジンを活用しています。翻訳エンジンは日本語をベースとし英語を介さないため、日本語に強く高い翻訳精度を実現します。

②対面での円滑な多言語コミュニケーションが可能

人間の有効視野※内に顔と字幕が映る設計となっており、相手の顔と字幕の両方が同時に視野に入り、目線の動きを最小限に抑えた自然な会話空間を演出し、対面での円滑な多言語コミュニケーションを実現します。
※有効視野・・・物体を明瞭に捉える事のできる上下20度程度の視野

③幅広い言語の翻訳に対応

「VoiceBiz®UCDisplay」の音声翻訳では、以下の12言語に対応しています。
日本語↔英語、韓国語、中国語（簡体字）、インドネシア語、タイ語、ベトナム語、ポルトガル語、ミャンマー語、スペイン語、フランス語、フィリピン語、日本語

<参考>

●凸版印刷株式会社 2023年1月31日リリース

「凸版印刷、対面での円滑な多言語コミュニケーションを実現する『VoiceBiz®UCDisplay』を開発」

https://www.toppan.co.jp/news/2023/01/newsrelease230131_1.html

◇お客さまのお問合せ先

西武鉄道お客さまセンター TEL(04)2996-2888

音声ガイダンスのご案内により、メニューをお選びください。

【営業時間：全日 9時～17時（12/30～1/3を除く）

以上